

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

去る4月26日に支部総会が行われ、(株)日本技術士会北海道支部、北海道技術センターの組織統合を受けた新しい組織および体制が決定されました。今後は一本化された支部組織で、さらに活動が活性化するものと確信しています。■広報委員会においても、広報委員（日本技術士会会員）と会誌編集WGメンバー（協賛会員）からなる新体制で会誌編集とホームページ運営を行ってまいります。■さて、本誌「コンサルタンツ北海道」ですが、広報委員会では統合後の誌名の変更を含めた今後のあり方について、侃々諤々の議論を行ってきました。誌名案は「北の技術士」、「プロフェッション北海道」、「PE-Hokkaido」等々。しかし、どれもピンときません。思いついても既存の誌名や会社名だったりして、なかなか「これだ！」と言うものを見つけることが出来ませんでした。■一方、技術士の英文表記が「Consultant Engineer」から「Professional Engineer」に変わり、技術士会のロゴマークも「CE」から「PE」に変わりますが、「コンサルタンツ北海道」には111号40年の歴史があります。■先輩技術士によって連綿と受け継がれてきたものを変えるよりも、その「重み」すなわち、北海道の技術士活動の礎を築いた、支部と北海道技術士センターの40年に及ぶ歴史の象徴として、あえて「コンサルタンツ北海道」の名前は残すことにさせていただきました。■もちろん、誌面については一層の充実を図るべく準備中ですので、これからも「コンサルタンツ北海道」をどうぞよろしく願いいたします。

(第112号 編集担当 見上 敏文)